

大学名等	東北大学大学院歯学研究科
教育プログラム・コース名	次世代がん対応歯科医師研修コース（インテンシブコース）（テーマ②）
対象職種・分野	歯科医師、受講を希望する歯科医療関係者
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療機関にて日常診療時や歯科検診時に、前がん病変や早期がんの発見を適確に実施できる口腔がん検診歯科医師の養成（がん予防）</li> <li>・医科と連携してがん患者を地域で受け入れることのできるかかりつけ地域連携歯科医の養成（顕在化している課題対応）</li> <li>・顎骨壊死など癌治療関連有害事象や高齢者・成人のみならず、小児やAYA世代がんに対応できる歯科医師の養成（顕在化している課題対応・多様なニーズ）</li> <li>・すべてのがん治療に対し口腔支持療法により治療支援を立案・実施できる歯科医師</li> </ul>
修了要件・履修方法	<p>・本コースに対応する東北大学大学院歯学研究科博士課程の選択科目について、オンラインで16時間、自己学習で14時間、合計30時間以上を履修し、試験に合格すること。また、がんプロ主催の講義を受講可能とする。</p>
履修科目等	<p>東北大学大学院歯学研究科博士課程の選択科目内容 「口腔がん検診特別研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん疫学・ジェネティックエビデンス・異常とがん</li> <li>・口腔粘膜の解剖学的特徴と病理診断の基礎</li> <li>・がんの発症と治療に関する基本的知識の確認</li> <li>・口腔粘膜・口腔癌検診（理論と実技、評価と連携）</li> <li>・口腔細菌叢と発がん・口腔管理の意義</li> <li>・がん治療を受ける患者さんへの歯科・口腔管理計画と評価（最新のがん治療・周術期口腔管理・歯科がん支持療法）</li> <li>・がん患者の社会復帰を支援する歯科治療介入・摂食嚥下栄養管理</li> </ul> <p>&lt;後述のがんプロ主催の講義を履修可能&gt; 次世代腫瘍予防学特論ほか</p>
がんに関する専門資格との連携	特記事項無し。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<p>口腔癌は増加の一途をたどっており、歯科医師が一般歯科治療の中で口腔粘膜診断を行い、前癌病変を含めて超早期発見するがん予防対策が求められている。さらに、刻々と進歩する最新がん診断と治療の多様化に伴い、がん治療を支援する口腔支持療法も多様化が求められている。また癌治療関連有害事象が口腔内に多発しており、適切な標準的対応が一般歯科医師にも求められている。しかしながらこれらの体系的教育は行われておらず、歯科医師のリスクが求められる。そこで本コースでは、次世代の癌治療に対応できる歯科医師（次世代がん対応歯科医師）を養成することを目的にした他に類をみない体系的教育コースである。また本コースでは、歯学履修課程（修士課程）の講義の一部を公開講座として外部に開放し、地域歯科医師の参加を促す。</p>
指導体制	<p>東北大学大学院歯学研究科でがん教育に関わる教員によるオンデマンド講義を実施し、東北7県全域の受講者に対応する。</p> <p>東北大学病院で実際にごん治療に関わる口腔外科関連診療科、さらに全国唯一である口腔支持療法を専門とする口腔支持療法科の歯科医師による最新の診断・治療法を教授する。</p>
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域歯科医療の場で日常的に口腔粘膜を診断し、早期口腔がんを発見する歯科医師</li> <li>・医療機関と連携してがん患者等の周術期口腔管理を患者中心のチーム医療として適確に実施する地域歯科医師</li> <li>・地域歯科医療機関でがん患者の社会復帰を支援するために多彩なニーズに対応する歯科医師</li> </ul>